

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		小学校施設管理用務業務委託				所管	教育委員会 庶務課	
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標]						
		[小 柱]						
		[施 策]						
	根拠法令等	条例・規則		[法令等名]	台東区教育委員会事務局処務規則			
	事業対象	小学校19校						
	事業目的	用務職員の退職不補充に伴い、用務業務を含む施設管理業務を民間委託することで、施設の円滑な維持管理を図る。						
	事業内容	用務業務及び定期清掃 定期清掃…貯水槽清掃、プール清掃、窓ガラス清掃、カーペット清掃、体育館清掃、床ワックス塗布、換気扇・扇風機清掃、吸気口清掃、エアコンフィルター清掃、巡回清掃など						
委託の有無			委託内容	用務業務委託、定期清掃業務委託				
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	委託実施校数 校		19	16	17	18	
	成果指標							
	決算額 (単位：千円)				144,531	138,435	138,388	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			1,800	1,583	1,180	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			144,532	138,435	138,388	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			0	0	0	
		総経費			146,332	140,018	139,568	
財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
	その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0		
	一般財源 (区負担額)			146,332	140,018	139,568		
前年度から改善した事項		民間業者への円滑な移行に努めるとともに、移行後の学校現場の状況を的確に把握し、業者指導等を行っている。						
評価の視点		評価	評価の理由					
	必要性	3	用務職員の退職不補充にあわせ、順次、民間委託を図っていく必要がある。					
	効率性	3	用務業務と定期清掃業務を一体として民間委託することで、経費節減が図られている。					
	手段の適切性	3	区の用務職員の定年退職に合わせ、効率的に委託化を推進している。委託契約の方法について、現行の競争入札とプロポーザル方式を比較検討するが、本事業開始から10年経過し業者の質も向上してきており、コスト削減と合わせ手段は適切に行われている。					
	目的達成度	4	施設の環境美化が良好に図られている。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
職員の退職にあわせ、順次、民間委託を図り、26年度で全校委託の目標が達成する。						維持		